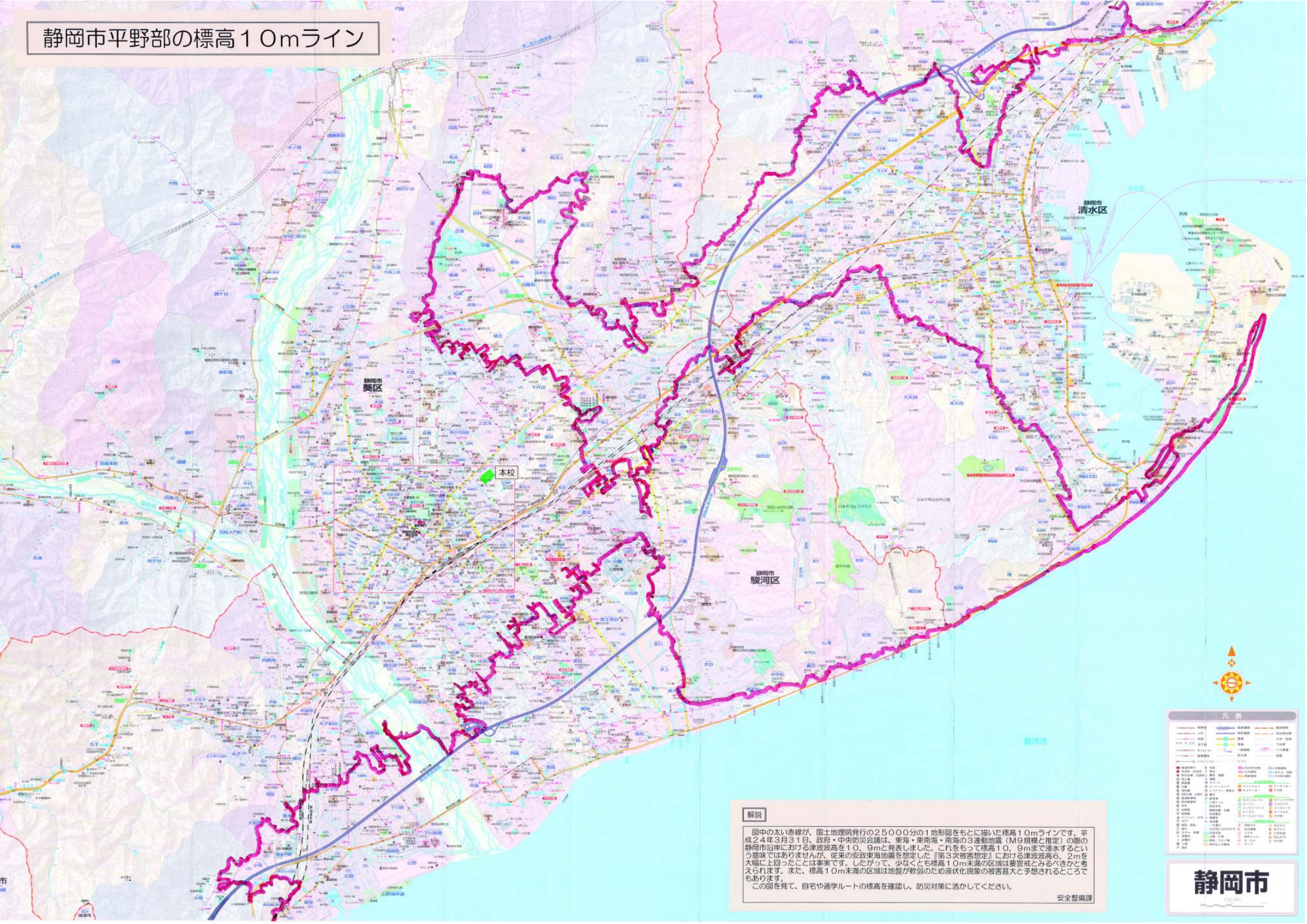
静岡市平野部の標高１０ｍライン



解説

図中の太い赤線が、国土地理院発行の２５０００分の１地形図をもとに描いた標高１０ｍラインです。平成２４年３月３１日、政府・中央防災会議は、東海・東南海・南海の３連動地震（Ｍ９規模と推定）の際の静岡市沿岸における津波波高を１０．９ｍと発表しました。これをもって標高１０．９ｍまで浸水するという意味ではありませんが、従来の安政東海地震を想定した『第３次被害想定』における津波波高６．２ｍを大幅に上回ったことは事実です。したがって、少なくとも標高１０ｍ未満の区域は要警戒とみるべきかと考えられます。また、標高１０ｍ未満の区域は地盤が軟弱のため液状化現象の被害甚大と予想されるところでもあります。

この図を見て、自宅や通学ルートの標高を確認し、防災対策に活かしてください。

安全整備課

凡例

静岡市